

神戸東部 つくろう安心 暮らしのシステム
NPO サービスセンター

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町 2-13-1 森田ビル 3 階 NPO 法人 CS 神戸内

TEL 078-841-0323 FAX 078-841-0312 E-mail : nposc@cskobe.com (2008 年 12 月 1 日発行)

【2008 年度第 2 回会員交流会について】

8 月 26 日(火) トータルケアシステム推進協議会幹事会に引き続き会員の懇親会が開催されました。会での概要を記します。

当センターの活動の方向性について

・トータルケアシステム業務(インフォ-マルサービス)は益々増加するであろう。しかし、当該センターではサービスの受発信を主軸にし、直営部隊(よろず)によるサービス業務は、地区外等にシフトし最小限で行なう方向で進めていきます。

・介護保険利用や子育て支援等のアドバイス業務については積極的に進んでいきます。

・ユニメイト養成講座の既修了者は約 60 名であるが、その後必ずしもボランティアの登録がされていない。別に、ボランティア登録者は 80 余名であるが、当該センターのよろずでの活動者は 10 名程度である。いずれも平均年齢は団塊の世代前後で高齢化社会を支えていく貴重な人材で、今後、これらの人々と連携を深めていくべく第 1 回ミーティングを 12 月 1 日(月)に開催します。

・会員の拡大については、近隣の「あんすこ」との強い継続的な連携が肝要であり強化していきたい。ホームページ等のタイムリ-な更新と広報の充実等もさらに検討すべきであるとの意見が多かった。

・新規事業へのチャレンジや模索などについては積極的に進め、トータルケアの細部にわたり事業化していく方針も確認されました。

トータルケアシステム推進協議会幹事会メンバー

足立勝(神戸介護ケアウイング), 大和三重(関西学院大学), 加藤晶(神戸ライフケア協会), 小竹吉明(全労済中日本), 南雲健一(全労済兵庫), 水田伸子(二人同心会), 河野次雄(神戸市シルバ-サービス事業者連絡会), 村山メイ子(東灘地域助け合いネットワーク), 中村順子(CS 神戸)

事務局体制について、9 月 1 日から新メンバー-2 名による勤務時間は月~木曜日の 9 時 30 分から 4 時 30 分によるロ-テ-ション制への変更、他の時間帯は CS-神戸のスタッフで対応することが了解されました。

入会の条件等を定めた会則作成を進めていくことになりました。

【第 5 期ユニメイト養成講座の終了報告】

神戸市パートナーシップ助成により表記講座を開催しました。講師の方々ならびにご参加いただいた方々には改めて感謝いたします。一日のみの出席者もありましたが、伊丹市から参加者もあり関心度の高い内容の講座でした。特に、従来の基礎的な講義内容、「介護保険制度」、「高齢者をひたくりなどの犯罪から守ろう」、「利用者との上手な付き合い方とコミュニケーション」、「日常生活に必要な応急処置等の知識」、「ヘルシ-簡単料理三品」等に加えて、今回新しく「高齢者の心身における自立支援」、ならびに子育て支援分野では、「子育てを取り巻く社会的課題と支援制度」、「身近な保育の現状と基礎知識」、「乳幼児との関わり方と基礎知識」、「子育て世代の精神面」等について当該分野の専門家からお話をいただきました。アンケート内容から、“料理実習は座学から解放され和気藹々とお料理もおいしく頂いた”、“講義の後でもう少し Q&A の時間がほしかった”、“子育て支援は、まさに若い母親を如何に支援するかである”等、参加者の真摯な思いが言葉に表れていた。また、“困難もあろうがこの講座の継続を希望する”との温かいお言葉も頂いた。今後の課題としては、開催する際の資金、講座の内容の斬新さを検討し、団塊の世代を中心に多くの参加者を募っていきたいと思います。

【成年後見制度のシンポに出席して】

みんなで考えよう！成年後見制度について
去る10月18日(土)表記シンポが神戸シルバ
法律研究会、ならびに社協等により開催された。参加者は約200余名で多くの方の関心事であることが伺われた。判断能力が不十分になる認知症や高齢者が、2025年には400万人を超えると推定され、家族以外の第三者後見人の必要性は高いが、現状ではそのニーズに応じきれない。家族や一部専門職にのみにたよるのではなく、市民同士で連帯し支えあいその大役を担う時代が来ている。その担い手として、「福祉あんしんサポ-タ-」やトータルケアの勉強会を母体に生まれた「ひょうご市民後見研究会」の活動紹介があった。しかし、日本では、市民後見人の活動はドイツやカナダのようにない。一日も早く海外のように市民後見人制度を実際に導入し、老後を安心して任すことが出来、過ごせるような社会が作られなければならない。社協が中心になって行っている、生活支援員のシステムは、一定の講習会を受講することにより金銭の管理、貸金庫サービス等の金銭面での整理・支援などのサービスを行なうことができ、後見人の仕事を支援することになる。市民後見人に近い業務をおこなってはいる。それでも、それらの業務を実際におこなっている者は、大阪、東京都世田谷区等で数人しか任されていない。高齢者や障害者の財産を守る、高齢者を代弁する人が多くなることが、行政や司法(家裁)などの支援により直ちに確立すべきことであることを実感しました。

【神戸東部 NPO サービスセンターの活動状況報告】 (2008年9月1日~2008年11月30日)

内 容	件数
アクセス総数 (A+B)	31
情報提供・問合せ B	12
NPO 団体 (新規利用件数)	15
NPO サービスセンター (新規利用件数)	4
合計 (+) A	19

【会員掲示板】

みんなの居場所『ちょっと』のその後

6月、7月に居場所「ちょっと」のトライアルを行い、8月は「つむぎ」の子どもたちの夏休みで休業し、資金の関係上、9月もやむを得ず休業。幸い木口ひょうご地域振興財団からの助成金を得て10月から再開したが、地域からの参加者はまだ3名にとどまっている。結果だけを見れば惨憺たるものだが、「ちょっと」が「何とか教室」とか「何々する会」とか具体性を提示する団体ではないので存在のアピールが難しいのは最初から分かっていた。かと言って関係者や知り合いを呼び集めて数字だけの結果を取り繕うのは最悪の自己満足に陥ってしまう。場所の良し悪しの問題等あるが、どれも二次的及び今後の課題であり、忘れてはならないのは誰でも気楽に参加できる居場所作りという初心の基本線を踏みはずさずにどれだけ具体性を維持できるかであろう。雲を掴むような難しさはあるが、続けられるだけ続けて行きたいと思う。(鈴木啓隆；
場所：東灘区本山北町 4-2-7、学童保育つむぎ内、090-1148-6714)

【会員掲示板】この掲示板は、皆様会員の情報を交換する場です。是非、忌憚のない投稿をお願い致します。次号は新年明けの発行を計画しております。また、当紙に各事業所、団体の特徴・紹介を順番に記し広くネット等で広報していきます。これにもご協力下さい。

2008年12月1日(金) 16.00~17.30
まで、第3回トータルケアシステム推進協議会幹事会を開催いたします。

【編集後記】本年の9月1日から当該業務を引継ぎ、無我夢中に過ごした数ヶ月であった。しっかりした土台を創っていただいた先人達の努力に感謝し、トータルケアシステムを大事に育てていきたいと思っております。よろしくご指導、ご鞭撻くださいますようお願い致します。

(事務局：小林清隆、圓井匡代)